三島市6月議会

補正予算・一般質問等

三島市6月議会が、6月15日から29日まで休会日をはさみ、延べ6日間に渡り行われた。

平成22年度一般会計補正予算では、地域子育て創生事業（8事業）6318万円追加。主な内容は、・公園内施設整備事業（遊具の新設・更新）3225万円・子育て支援センター事業（施設の拡充と充実）2000万円等。

緊急雇用創出事業（6事業12名）では、1448万円の追加。

各小学校耐震補強事業では一般競争入札の結果、7823万円の減額補正となった。

向山古墳群史跡公園整備事業では、土地開発公社から16658㎡の用地を2億5000万円で買い戻し、来年度より公園整備が実施される。

条例改正では、錦田こども園の保育園棟が9月からオープンになり、名称変更や定員増などによる条例改正と放課後児童クラブ条例の一部改正が提案され、その他、条例改正では7案件が提案された。

議長　副議長選挙

毎年、恒例のように議長・副議長が1年限りで辞任するため、6月議会最終日、足立議長に代わり佐藤議長が、また、石綿副議長に代わり碓井副議長が選出された。

議長、副議長の任期は1年という訳ではないが、議会多数会派の思惑で毎年1年で交代している。

一般質問

一般質問は21日から4日間に渡り16人の議員が登壇した。

主な質問は、川原議員は郷土資料館の移転新築について質し、耐震補強から移転新築に転換した経緯や建設費用、運営経費、また運営の難しさ等について当局の答弁を求めた。

市長の答弁は、当初、耐震補強の予定であったが、補強工事は1億5千万円もかかる。移転新築では3億円、現状では楽寿園内に有り、入園者の不便を考慮し、この際、新築に切り替えたとのこと。

鈴木議員の質問では、子宮頸がん対策で、予防ワクチン摂取について市の助成を求めると質した。市長答弁では、9月補正で、小6、中3を対象に全額補助したい。財源は入札で浮いたお金を利用すると言うものであった。

栗原議員の質問は、中学校における「暴力・いじめ問題」への学校、市教委の対応についてで、暴力行為件数、いじめ認知件数。暴力を受けた生徒の警察への被害届が出された件数。加害者への出席停止、懲戒が行われた件数等を質した。当局の答弁では、平成21年度では暴力事件は21件、いじめ件数82件。警察への被害届2件。これに対し、栗原議員は、いじめや暴力事件は後を絶たない、総点検を求めるとし、とりわけ学校現場では組織的な対応を行うことを求め、対処方針を明確にし、地域、父母に公開することを求めた。

下山議員の質問では、国民健康保険の社会保障制度の側面から問い質すもので、国民健康保険制度の市のパンフレット説明では、健康を維持する上で、国民加入者の権利としての説明が不十分と指摘。また収納率低下の要因は何かや保険税負担の軽減等を求めた。

さらに、低所得者層への保険料「減免制度」の周知が十分に成されておらず、資格証明書、短期保険証発行の現状を質した。鋭い質問に、市当局の答弁は暫し行き詰った。

— そして六月 —

樺忌のきょうを濡らして降りつづく六月の雨夕ぐれ長し

ゆすらうめ落つるを朝に聞いている時の過ぎゆく樺忌幾とし

襤褸布を丸めて球蹴る囚人らアパルトヘイトの島にはじまる

-ロベン島はかつて政治囚の島だった-

受刑囚マンデラもいてボール蹴るアパルトヘイト廃するを込め

国の礎をかため沸き立つW杯ブブセラひびかせ人びとが舞う

草食と呼ばれて久しき若者ら踊り固まり「ニッポン」を連呼す

浅野　和子

交差点

去る5月14日、15日、東京神田、明治大学アカデミーホールで地方自治経営学会研究大会があったので出かけてきた。全国から800人を超す地方議会関係者が参加した大会だった。

二日間にわたり8分野の講演やパネルディスカッション等が行われた。その中で特に目を引いた事例発表が、「沈没寸前のシャッター通り、ゴーストタウンの通りを見事甦らせた。売り上げは実に3倍に、全国の都市、各地からの視察相次ぐ"都市活用モデル大賞"国土交通大臣賞「受賞」というものだった。

高松丸亀町商店街　シャッター通りから生き返り

日本全国どこでもそうだが、古い商店街は軒並み客足は遠のき、多くはシャッター通りと化している。車社会の中で、郊外に大型量販店が進出。都市のドーナツ化現象に加え少子高齢化で商店街はゴーストタウン化するのが通例だ。そんな通例を覆す取り組みが行われたというから驚きだ。

事例紹介は香川県高松市丸亀町商店街。高松市は県庁所在地、人口約41万人。三島市の約4倍。四国の玄関として発展してきた。

「高松丸亀町商店街」は、高松市の中心商業地区の真ん中に位置する全長470mの商店街。有名ブランドを扱うブティックが多く、流行の先端を行くファッション性の高い商店街として高松の商店街をリードしてきたという。また、丸亀町は開町以来400年余りの歴史を誇る町である。

20数年前、高松においても地元スーパーによる郊外への大型店出店が始まっていた。商店街の通行量は減少し、アーケードの建て替えや、商店のリニューアル、駐車場の増設だけでは、通行量の減少に対応できず、丸亀町は衰退するという危機感が生まれた。

そこで、青年会が中心となって再開発委員会を発足させ、将来の丸亀町商店街のあり方について真剣に議論を重ねた。

結論は、共同化により合理的な土地利用を行い、商店街全体をひとつのショッピングセンターと見立て、業種の偏りを正し、適切配置する。中小商業者が生き残るには、個別の努力と、合理的土地利用、都市計画としての明確な位置付け、土地の権利調整を行う、市街地再開発事業を実施する。それらを高松市の提案のもと決定した。事業は成功し、街の賑わいが甦ったという。

三島もこんな例に倣いたいものだ。

原発はいらない⑱　放射能のゴミ　その4

みしま原発を学ぶ会

六ヶ所村の村長選

6月20日、核燃料サイクル事業を争点とした村長選で現職の古川氏が新顔で反核燃団体に所属する梅北氏を大差で破り、3選を果たした。再処理工場などの核燃関連施設で村に入る固定資産税や交付金を活用し、道路整備や学校、診療所、保育所などの公共事業を積極的に進めると訴えた古川氏を建設業界、村議20人全員が支持。日本原燃や東京、東北両電力などの電力業界も強力に支援した結果だ。

財政危機にアメアラレ

現在六ヶ所村にある核燃関連施設は、①使用済燃料貯蔵プールを含む再処理工場　②高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター（ガラス固化体1440本・最終規模2880本）、③低レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター（200リットルドラム缶40万本・最終規模300万本）、④ウラン濃縮工場で、これらの建設費総額は約2兆7280万円。固定資産税の目減りで財政悪化の途上にある村にとっては頼みの綱の施設なのだ。

トラブル続きの再処理工場

トラブル続きの再処理工場や高レベル廃棄物の最終処分地選定が進まないことへの不安を抱き、反核を支持する村民もいる。

最終処分施設建設の手続きを決めた「高レベル処分法」のもと、『原子力発電環境整備機構』が02年から概要調査地区の公募を開始したが、その前段階である文献調査にも入れていない。（09年3月現在）

応募する自治体に対しては、応募しただけで文献調査の一年間に2.1億円、概要調査に入れば単年度20億円（最高7年間70億円）の交付金が貰える。だが、お金を貰えば最終処分地を押し付けられることは見え見え。

調査を受け入れようと画策した市長に対しリコール騒ぎになった自治体もあるほどだ。どこも引き受け手がなければ、現在管理貯蔵している六ヶ所村が最終処分地にされる可能性大だ。

地層処分は安全なのか

地表から数百～千m程度の深い地層に埋める隔離型処分が安全に実施できるかは実証されておらず、処分推進の研究者から見ても不確定要素が極めて大きいとされ、国際的にも地層処分の見直しの動きがあるくらいだ。

六ヶ所村の人々の不安は当然。電気を豊かに使った挙句の極めて危険なツケを一部地域に押し付けていることに、私たちは決して鈍感であってはならない。（終）

資料＝西尾漠『放射性廃棄物のすべて』、原子力資料室編『原子力市民年鑑』

ある野戦重砲兵の物語⑾

秋元　実

やがて、シンガポールに輸送船がきて、わたしたち転属兵はそれで、五月三十一日、今はヤンゴンといわれるビルマの中心都市ラングーンに運ばれたのでした。

日本軍のビルマ進攻作戦は、昭和十七年一月末に始まり、第三十三・第五十五・第十八・第五十六という四個師団の兵力で、英印軍と中国軍を圧倒し、ほぼ四か月で、イギリスの植民地のビルマ全土を占領したのです。

わたしたちが、ビルマに到着したとき、幸運にも初期の作戦は終り、目指す三島野戦重砲兵第三連隊は、第三大隊を、最前線の中国雲南省の拉孟に置いて、第一大隊だけ、ビルマ中部からラングーンに帰還し、その北郊の、かつて英印軍の住居だった高床式のコカイン兵舎で、戦いの疲れを癒していたところでした。

わたしたち追及兵は、そこで第一大隊と第三大隊に分けられ、わたしは、同期同年齢の渡辺隆雄君とふたり、第六中隊に配属されました。

野重三の第三大隊には大隊本部・第四中隊・第五中隊・第六中隊・大隊段列と五つの中隊がありましたが、連隊本部の人事係による各中隊へのこのときの配属が、三島からやってきた、作戦終了後最初の補充要員である六十名の将兵の運命を分けたのです。

第一大隊に配属され、ビルマに残った半数は、昭和十九年の、牟田口中将に依る強引なインパール作戦失敗の後、反攻に転じたイギリス軍との戦闘で半数が戦死し、さらに、わたしといっしょに第三大隊に配属になってティモールへ転進した者でも、鬼頭大尉の第五中隊にまわされた連中は、東ティモールのラウテン守備となり、食糧の欠乏とマラリアで、百三十名の隊員のうち、十八名が戦病死しました。

しかし、たった一人、第六中隊に配属されたわたしと渡辺君は、南部ティモールで、どうやら生き残ることになるのです。

当時、第三大隊七百名の将兵は、イギリス軍と中国軍を追う作戦を終え、中国との国境を越えて、サルウィン河畔の拉孟とその後方の龍陵に駐屯しており、わたしたち第三大隊配属兵は、鉄道組十五名とトラック組十名に分かれて、中央平原からシャン高原にかけて、約八百キロを北上することになったのですが、わたしは、トラック組に指定され、召集の古兵を交えた十名の兵隊と荷台に座り、からだを寄せ合って、未知の世界への、二泊三日の旅に出掛けたのでありました。

（つづく）

みしま 源氏物語を読む会
と　き：毎月第1・3月曜日（月2回）
午前10時15分～1時45分
ところ：三島商工会議所・会議室
内　容：『源氏物語』　使用テキスト・角川文庫
会　費：月2000円（テキスト・資料代・講師料等含む）
＊使用テキスト等は会で用意します。
問い合わせ：『源氏物語を読む会』055－972-4953

あとにつづくものを信じて走れ
憲法9条呼びかけ人 井上ひさし
さんが残したメッセージ
私たちはどう応えればよいのでしょう
日時：7月19日（月）午後6時45分
会場 本町タワービル　4F 会議室
ビデオ：井上ひさしさんが残したメッセージ
入場無料　参加者フリートーク　第52回
みしま憲法9条の会
みしま中部憲法9条を守る会
三島市民講座
三島・田方憲法9条を守る会
連絡先　975-2855 加土井
973-1189 栗原
971-3348 山口
977-2016 木内

平家物語を読む会
と き：毎月第1，2，3金曜日
午前10時～12時
ところ：沼津駅前パレット集会室
テキスト：岩波文庫「平家物語」
会費　　月3000円
問い合わせ　055-972-4953
こくごビレッジ（高月）
☆見学自由　お気軽にご参加下さい。

教育学集会
いま、子どもも教師も
追い込まれている！
★新指導要領と教科書の問題
日時：7月17日（土）午後2時～
会場：せせらぎ会館、2階大会議室
（佐野美術館西側）
講演：小佐野　正樹氏
（子どもと教科書全国ネット21常任運営委員）
民主教育をすすめる三島の会
代表　山口　康司
TEL：971-3348

楽々パソコン教室のご案内
毎週水曜日　夜
生涯学習センター
5F（パソコン教室）
午後7時～8時半
月4千円、1回1000円
【個別指導対応】
ワード、エクセル、デジカメ、
画像処理、ホームページ作成等
連絡先：055-986-1301（勝俣）